

## IX. 調査票

# ■ 市民意識調査

## 女性と男性がともに暮らしやすい 豊中市をつくるためのアンケート

### 調査ご協力の方へお願い

白ごころは、市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。  
豊中市では、「男女共同参画社会の実現」をめざし策定した平成29年度から令和3年度を前掲とする第2次豊中市男女共同参画計画改定版及び第2次豊中市DV対策基本計画を前身すにあたり、皆様のご意見などをお伺いし、計画改定及び施策検討の参考とさせていただきます。  
このアンケートは、市内にお住まいの18歳以上の市民の中から3,000人の方を無作為に選ばせていただき実施するものです。ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理いたしません。また、調査および施策研究の目的以外に使用することはありません。  
アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいようお願い申し上げます。

令和2年10月

豊中市市長 長内繁樹

### 回答にあたってのお願い

● 回答は、次のいずれかの方法でお願いします。

- ① 調査票による回答  
この調査票に直接回答を記入し、同封の返信用封筒（切手不要・お名前の記入不要）に入れて、11月2日（月）までにポストに投函してください。
- ② インターネットによる回答  
パソコン、タブレット、スマートフォンで、下記URLまたは右のQRコードより回答ページにアクセスし、ユーザーIDを入力の上11月2日（月）までにご回答ください。



パソコン用URL <https://bit.ly/34b0v1u>

ユーザーID

- 調査票による回答の場合は、以下の点、ご注意ください。  
① アンケートには封筒のあて名の方がお答えください。代筆いただいても結構です。  
② 選択肢がある質問には、あてはまる番号に○をつけてください。  
③ 回答できない場合や回答したくない場合は、次の質問にお進みください。
- アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。  
豊中市 人権政策課 男女・多文化共生係  
TEL：06-6858-2654 FAX：06-6846-6003  
E-mail：danjikyoudou@city.toyonaka.osaka.jp

はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

問1 あなたの性別をお聞かせください。(○はひとつ)

1. 女性
2. 男性
3. その他

問2 あなたの年齢についてお聞かせください。(○はひとつ)

1. 18～19歳
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～69歳
7. 70歳以上

問3 現在、あなたには配偶者・パートナー（事実婚などを含む/以下同じ）はいいますか。(○はひとつ)

1. 配偶者・パートナーがいる
2. 配偶者・パートナーはいない

問4 あなたと一緒に住んでいる方を、すべてお選びください。(○はいくつでも)

1. 配偶者・パートナー
2. 子ども
3. 孫
4. 父
5. 母
6. 祖父母
7. 兄弟・姉妹
8. その他（具体的に）
9. 同居家族はいない

【問4で「2. 子ども」と答えた方にお聞きします。】

問4-1 一番下のお子さんについてお聞かせください。(○はひとつ)

1. 3歳未満
2. 3歳以上就学前
3. 小学生
4. 中学生
5. 高校生相当の年齢
6. 高校生相当の年齢より上

【すべての方にお聞きします。】

問5 あなたの職業をお聞かせください。(○はひとつ)

1. 自営業主 (独立して自分で事業をしている人/経営者)
2. 家族従業者 (自営業主の家族でその自営業に従事している人)
3. 被雇用者 (会社・官公庁・個人商店などに雇われている人)
4. 家事専業 (主婦・主夫)
5. 無職 (年金生活を含む)
6. 学生
7. その他 (具体的に ) )

【問5で「3. 被雇用者」と答えた方にお聞きします。】

問5-1 勤務形態をお聞かせください。(○はひとつ)

1. 正社員・正職員
2. 派遣・契約・嘱託社員
3. パートタイム・アルバイト (週30時間以上)
4. パートタイム・アルバイト (週30時間未満)
5. その他 (具体的に ) )

【問3で「1. 配偶者・パートナーがいる」と答えた方にお聞きします。】

問5-2 配偶者・パートナーの職業をお聞かせください。(○はひとつ)

1. 自営業主 (独立して自分で事業をしている人/経営者)
2. 家族従業者 (自営業主の家族でその自営業に従事している人)
3. 被雇用者 (会社・官公庁・個人商店などに雇われている人)
4. 家事専業 (主婦・主夫)
5. 無職 (年金生活を含む)
6. 学生
7. その他 (具体的に ) )

【問5-2で「3. 被雇用者」と答えた方にお聞きします。】

問5-3 配偶者・パートナーの勤務形態をお聞かせください。(○はひとつ)

1. 正社員・正職員
2. 派遣・契約・嘱託社員
3. パートタイム・アルバイト (週30時間以上)
4. パートタイム・アルバイト (週30時間未満)
5. その他 (具体的に ) )

続いて、順番に質問にお答えください。

問6 一般的に、次の①～⑧の各分野で男女は平等になっていると思いますか。(それぞれ○はひとつずつ)

	男性 それぞれが している	男性と 女性と それぞれが している	平等 になっている	女性と 男性と それぞれが している	女性 の方が している	わからない
① 家庭生活で	→ 1	2	3	4	5	6
② 職場で	→ 1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場で <small>(児童・生徒の立場から)</small>	→ 1	2	3	4	5	6
④ 法律や制度で	→ 1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場で	→ 1	2	3	4	5	6
⑥ 地域活動・社会活動の場で <small>(自治会、PTA、NPO、ボランティア など)</small>	→ 1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたり	→ 1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体で	→ 1	2	3	4	5	6

問7 次の①～⑧の項目についてどのように思いますか。(それぞれ○はひとつずつ)

	そう 思う	そう 思うと はい	そう 思うと はい ではない	そう 思うと はい ではない	そう 思わない	そう 思わない
① 妻や子どもを養うのは、男性の責任である	→ 1	2	3	4	5	
② 結婚したら妻が夫の姓を名乗るのは当然だ	→ 1	2	3	4	5	
③ 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい	→ 1	2	3	4	5	
④ 自分の子供にも、男女にかかわらず同程度の教育や学歴を身につけさせたい	→ 1	2	3	4	5	
⑤ 子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい	→ 1	2	3	4	5	
⑥ 育児・介護休業は男性より女性がとった方がよい	→ 1	2	3	4	5	
⑦ 必ずしも子どもを持つ必要はない	→ 1	2	3	4	5	
⑧ 結婚は個人の自由であるから結婚してもしなくてもどちらでもよい	→ 1	2	3	4	5	

問8 「男性は仕事、女性は家事・育児」という考え方について、どう思いますか。  
(○はひとつ)

1. 賛成	
2.どちらかといえば賛成	
3.どちらかといえば反対	
4. 反対	
5. わからない	

【問8で「1. 賛成」「2. どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きします。】

問8-1 その理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 役割分担をした方が効率がよいと思うから	
2. 小さい頃からそう教えられてきたから	
3. 子どもの成長にとってよいと思うから	
4. 個人的にそうありたいと思うから	
5. 日本の伝統・美徳だと思うから	
6. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	
7. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	
8. その他 (具体的に )	
9. 理由を考えたことがない	

【問8で「3. どちらかといえば反対」「4. 反対」と答えた方にお聞きします。】

問8-2 その理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 男女平等に反すると思うから	
2. 小さい頃からそう教えられてきたから	
3. 男女がともに仕事と家庭に関わる方が、各個人や家庭にとってよいと思うから	
4. 女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとっても損失だと思うから	
5. 少子高齢化により労働力が減少し、女性も仕事を必要があると思うから	
6. 夫も働いた方が、多くの収入が得られると思うから	
7. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとっていいと思うから	
8. 仕事に適した女性や、家事・育児に適した男性もいるから	
9. その他 (具体的に )	
10. 理由を考えたことがない	

問9 家庭での分担について、あなただけのようにするのが望ましいと思いますか。  
また、実際にあなたの家庭では、どのように分担していますか。

(①～⑥の項目について、理想と現実それぞれ各項目に○はひとつずつ)

	理想 (全員お答えください)		現実 (配偶者・パートナーのお答えください)		理想 (配偶者・パートナーのお答えください)		現実 (配偶者・パートナーのお答えください)	
	同 居 夫 妻 共 に 働 き か つ つ す る こ と	そ の 他	同 居 夫 妻 共 に 働 き か つ つ す る こ と	そ の 他	同 居 夫 妻 共 に 働 き か つ つ す る こ と	そ の 他	同 居 夫 妻 共 に 働 き か つ つ す る こ と	そ の 他
① 生活費を得る	→ 1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4 5
② 家計の管理	→ 1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4 5
③ 日中の家事(食事の したく、掃除、洗濯)	→ 1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4 5
④ 育児	→ 1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4 5
⑤ 高齢者・病人の介 護・看護	→ 1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4 5
⑥ 自治会、町内会など 地域活動への参加	→ 1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4	1	2 3 4 5

問10 次の地域活動について、①現在参加している活動と、②今後(または引き続き)参加したい活動を、それぞれすべてお選びください。(それぞれ○はいくつでも)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
自治会・町内会の活動	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
P T A や子ども会の活動											
スポーツ・習い事の活動											
地元におけるボランティア活動や N P O (非営利団体) や ボランティア活動など											
高齢者や障がい者などのための 活動											
選挙や市民活動など に関する活動											
選挙・市民公開立候補・市政 活動など											
環境美化や防災活動											
まちづくりに関する活動											
特になし											
① 現在参加している活動	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
② 今後(引き続き)参加したい活動	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

【問10で、ひとつでも「1. 特にない」と答えた方にお聞きします。】

問10-1 それほどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事が忙しいから
2. 家事・育児・介護で忙しいから
3. 健康状態がおもわしくないから
4. 活動に魅力がないから
5. 人間関係がすずらわしいから
6. 活動の情報が得られなから
7. 参加するきっかけがないから
8. あまり関心がないから
9. 一緒に参加する仲間がいない
10. 配偶者などが進んで参加しているから
11. その他 (具体的に)

【すべての方にお聞きします。】

問11 今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男性が家事などに参加することに對する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事などに参加することに對する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重する
5. 社会の中で男性による家事・子育て・介護・地域活動についてもその評価を高める
6. 職場の上司や同僚が、男性の家事・子育て・介護・地域活動に理解を示す
7. 労働時間短縮や休暇制度の普及で、仕事以外の時間をより多く持つようになる
8. 男性が家事・子育て・介護・地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う
9. 国や地方自治体の研修などにより、男性の家事・子育て・介護などの技能を高める
10. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめる
11. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける
12. その他 (具体的に)
13. 特に必要なのはなし

問12 あなたは、女性の働き方についてのようにお考えですか (〇はいくつでも)

1. 結婚や出産に関わらず、仕事を続ける方がよい
2. 結婚するまでは仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
3. 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができた後家事や育児に専念する方がよい
4. 育児の時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
5. 育児の時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
6. 仕事にはつけない方がよい
7. その他 (具体的に)
8. わからなから

【問13は、「収入を得る仕事をしている」方にお聞きします。】

問13 ご自身の職場において、次の①～⑧の項目について男女は平等になっていると思いますか。(それぞれ〇はいくつずつ)

	男性と女性との差が大きい	男性と女性との差が小さい	平等になっている	男女の差がほとんどない	男女の差がほとんどない	わからない
① 採用・募集	→ 1	2	3	4	5	6
② 仕事の内容・仕事の負担	→ 1	2	3	4	5	6
③ 昇給や賃金水準	→ 1	2	3	4	5	6
④ 能力評価 (業績評価・人事考課など)	→ 1	2	3	4	5	6
⑤ 昇進・昇格・管理職への登用	→ 1	2	3	4	5	6
⑥ 研修の機会・内容	→ 1	2	3	4	5	6
⑦ 働き続けやすい雰囲気	→ 1	2	3	4	5	6
⑧ 出産・育児・介護休暇のとりやすさ	→ 1	2	3	4	5	6

【問14は、現在「収入を得る仕事をしていない」方にお聞きします。】

問14 あなたは、今後、収入を得る仕事につきたいと思いますか。(〇はいくつ)

1. ぜひ仕事につきたい
- 2.できれば仕事につきたい
3. 仕事につきたいと思わない
4. わからなから

【問14-1・問14-2は、仕事につきたいのに、仕事についていない方にお聞きします。】

問14-1 仕事につきたいのに、仕事についていない理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

1. やりたい仕事がないから
2. 応募しても断られるから
3. 家事や育児をしているから
4. 介護や看護をしているから
5. 定年退職したから
6. 健康上の理由で
7. 学生だから
8. その他 (具体的に)

問14-2 仕事につく上で、不安を感じることや困ることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 自分のしたい仕事につけるか
2. 自分の資格や能力が通用するか
3. 職場の人間関係がうまくいくか
4. 賃金や通勤距離など、望む労働条件が得られるか
5. 自分の健康状態や体力
6. 家事・育児・介護との両立ができるか
7. ことも国・学童保育などを利用できるか
8. 年齢制限に適合するか
9. その他 (具体的に)
10. 特になから

【すべての方にお聞きします。】  
 問15 もし、あなたが働き続けたい、あるいは働き始めたいと考えた場合、どのようなことが大切だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女が協力して家事や育児・介護などをする
2. 保育所・幼稚園・こども園や学童保育などの保育環境が整っている
3. 働きながら介護ができるようにホームヘルパーや施設などのサービスが充実している
4. 労働者の権利に関する情報提供や相談窓口が充実している
5. 再就職を希望する女性のための講座やセミナーが充実している
6. 生活状況に応じて柔軟な働き方を選ぶことができる
7. 社会保障が整っている(厚生年金など)
8. 職場での男女間の格差がない(募集・採用や配属・昇進など)
9. 残業がない、あるいは少ない
10. 職場に介護・育児休業制度がある
11. 介護・育児休業がとりやすい職場の雰囲気がある
12. その他(具体的に)

問16 1日のうちで、あなたが仕事(在宅勤務を含む)や、家事・育児・介護などをしていてる平均時間は、平日、休日それぞれどれだけのくらいですか。(それぞれ〇はひとつずつ)

(1) 仕事(在宅勤務を含む) ※通勤時間を含めた時間を記載してください。	① 平日(〇はひとつ)	② 休日(〇はひとつ)
1. なし	1. なし	1. なし
2. 4時間未満	2. 4時間未満	2. 4時間未満
3. 4時間～6時間未満	3. 4時間～6時間未満	3. 4時間～6時間未満
4. 6時間～8時間未満	4. 6時間～8時間未満	4. 6時間～8時間未満
5. 8時間～10時間未満	5. 8時間～10時間未満	5. 8時間～10時間未満
6. 10時間～12時間未満	6. 10時間～12時間未満	6. 10時間～12時間未満
7. 12時間以上	7. 12時間以上	7. 12時間以上

(2) 家事・育児・介護など

① 平日(〇はひとつ)	② 休日(〇はひとつ)
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分未満	2. 30分未満
3. 30分～1時間未満	3. 30分～1時間未満
4. 1時間～2時間未満	4. 1時間～2時間未満
5. 2時間～3時間未満	5. 2時間～3時間未満
6. 3時間～4時間未満	6. 3時間～4時間未満
7. 4時間～5時間未満	7. 4時間～5時間未満
8. 5時間以上	8. 5時間以上

問17 あなたは、希望として、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇はひとつ)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活(\*)」を優先したい (\*)地域活動、学習・趣味・付き合いなど
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. その他(具体的に)

問18 あなたの現在の生活に最も近いものはどれですか。(〇はひとつ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. その他(具体的に)

問19 配偶者・パートナー・交際相手からの暴力(なぐる・ける・無視するなどの身体的・精神的な暴力など)について、あなたが知っている相談窓口をすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. 豊中市配偶者暴力相談支援センター
2. 大阪府女性相談センター
3. 子ども家庭センター
4. その他(具体的に)
5. 具体的な名称は知らないが、相談窓口があることは知っている
6. 相談できる窓口があることを知らなかった

問20 あなたが配偶者・パートナー・交際相手から①～⑳のようなおこなうことをされることは、暴力にあると思いますか。それぞれについてお聞かせください。(横方向にそれぞれ0はひとつずつ) また、あなたが配偶者・パートナー・交際相手からされたことがあるものを、すべてお選びください。(縦方向に0はいくつでも)

	暴力にあたると思う	ない場があるところ	暴力はないと思う	わからない	どれもあつたものはない
① 何を言っても長期間無視される	→ 1	2	3	↓	1
② 大声でどなられる	→ 1	2	3		2
③ あなたが大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりされる	→ 1	2	3		3
④ あなたの交友関係や電話・メール・SNSを監視されたり、外出を制限される	→ 1	2	3		4
⑤ 実家の親・きょうだい・友人との付き合いをいやがられたり禁止されたりする	→ 1	2	3		5
⑥ 十分な生活費を渡さない	→ 1	2	3		6
⑦ お金を取り上げたり、預貯金を勝手におろされたり、借金を強要されたりする	→ 1	2	3		7
⑧ 「たれのおかげで、お前は食べられるんだ」「かいしようない」などと言われる	→ 1	2	3		8
⑨ げんこつや身体を傷つける可能性のあるもので、なぐるふりをして、おどされる	→ 1	2	3		9
⑩ 押しついたり、つかんだり、つねったり、こついたりされる	→ 1	2	3		10
⑪ 脅折させられたり、鼓膜をやぶられたりする	→ 1	2	3		11
⑫ 命の危険を感じるようなことをされる	→ 1	2	3		12
⑬ あなたが見たくもないのに、ホルノビデオやホルノ雑誌を見せられる	→ 1	2	3		13
⑭ 性的な画像などをばらまかれる	→ 1	2	3		14
⑮ 遊奸に協力しない	→ 1	2	3		15
⑯ あなたの意に反して性的な行為を強要される	→ 1	2	3		16
⑰ 子どもが見ている前であなたに暴力をふるう	→ 1	2	3		17
⑱ あなたを脅すために子どもに暴力をふるう	→ 1	2	3		18
⑲ 子どもと仲良くするのを嫌う	→ 1	2	3		19
⑳ 子どもを取り上げようとする	→ 1	2	3		20
					21 どれも
					ない

【問20で、ひとつでもされたことがあったと答えた方にお聞きします。】  
問20-1 そのことをだれかに相談しましたか。(0はいくつでも)

1. 家族や親族
2. 友人・知人
3. とよなか男女共同参画推進センターすてっぴ
4. 学校関係者(教員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど)
5. 配偶者暴力相談支援センター・DV専門相談機関  
(大阪府女性相談センター・豊中市配偶者暴力相談支援センターなど)
6. 子どもに関する機関(子ども家庭センター・市役所子育て担当・保育所など)
7. 警察
8. 公的機関(市役所など)の相談窓口・電話相談など
9. 保健所・保健センター(保健師・精神保健福祉士など)
10. 民間の専門家や専門機関(弁護士・カウンセリング機関・民間シェルターなど)
11. 医療関係者
12. その他(具体的に)
13. 相談しなかったが、しなかった(できなかった)
14. 相談しようと思わなかった

【だれかに相談したことがある方にお聞きします。】

問20-2 相談してよかったと感じたこととはどのようなことですか。(0はいくつでも)

1. 具体的な対応や方法の提示をしてくれた
2. 自分に何が起きているのかが理解できた
3. DVや暴力による支配についての理解がすすんだ
4. 相談先があることがわかった
5. 一人ではないと感じられた
6. 自分が悪いのではないと理解ができた
7. 安全について対応できた
8. 相手からの暴力が弱くなった
9. 相手からの暴力がなくなかった
10. 気持ちが悪くなった
11. 経済的な不安が緩和した
12. いざというときに相談できることを知った
13. 相手から離れようと思う気持ちが強くなった
14. 自分の強さに気付いたり、強い人間だと思えるようになった
15. その他(具体的に)
16. 相談してよかったことはない





【男性の方のみにお聞きします。】

問25 あなたが「男性はつらい」と感じるのは、どのような時ですか。(〇はいくつでも)

1. なにかにつけ「男だから」「男のくせに」と言われる
2. 「妻子を養うのは男の責任だ」と言われる
3. 「男なのに酒が飲めないのか」とからかわれる
4. 「力が弱い」「運動が苦手だ」とバカにされる
5. 仕事の責任が大きい、仕事でできて当たり前だと言われる
6. 自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある
7. 衣食住のことが十分にできなくて生活が不便である
8. 家族とのコミュニケーションがうまくいかない
9. その他 (具体的に)
10. 「男性はつらい」と感じたことはない

【すべての方にお聞きします。】

問26 男女共同参画社会(※)を推進していくために、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 市の政策・事業に対して、市民の声を聞く場や制度を充実させる
2. 民間企業・団体などの管理職に女性の意用が難むよう支援する
3. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実させる
4. 職場において男女の均等な取扱いが図られるよう企業などに働きかける
5. 男女共同参画に努力している企業を市民に対して紹介したり表彰したりする
6. 女性の能力開発や就業支援を充実させる
7. 男性の育児や介護への参加、地域活動などが難むよう取組みを充実させる
8. 労働時間短縮や在宅勤務の普及・啓発を行う
9. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
10. 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
11. 保育の施設・サービスを充実させる
12. 高齢者の施設や介護サービスを充実させる
13. 市民が、身近なこととして男女共同参画について考える社会教育の機会を増やす
14. 若年層からの男女共同参画に関する教育を充実させる
15. お互いの性を尊重し、男女とも生涯を通じた健康づくりのための支援をする
16. 女性に対する暴力の防止や被害者への支援を充実させる
17. その他 (具体的に)
18. 男女共同参画社会を推進すべきではない

※男女共同参画社会：男女が性別にかわりなく個性と能力を発揮し、等しく参加できる社会

問27 防災・災害対策において、性別に配慮した対応が必要だと思われるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. 避難所の設備 (男女別のトイレ・更衣室・授乳室・洗濯干場など)
2. 避難所運営責任者に男女がともに配置され、運営や被災者対応に両方の視点が入ること
3. 災害時の救援医療体制 (乳幼児・高齢者・障がい者・妊産婦のサポート体制)
4. 公的施設の備蓄品のニーズ把握や災害時に支給する際の配慮
5. 被災者に対する相談体制
6. 自治会などの地域における防災訓練に男女がともに参画し両方の視点が入ること
7. その他 (具体的に)
8. 特にない

問28 あなたは、豊中市の男女共同参画推進の拠点施設「とよなか男女共同参画推進センター」について(豊中駅前)を利用したことがありますか。(〇はいくつ)

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが知っている
3. 知らない

問29 豊中市の男女共同参画推進の拠点施設「とよなか男女共同参画推進センター」について(〇はいくつでも)あったら、利用したいと思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. 男女共同参画に関する幅広い情報・書籍・資料の提供サービス
2. 調査・研究サービス
3. 相談サービス
4. 学習活動・NPO・ボランティアの活動支援
5. 交流の場
6. 講演会・シンポジウム・フォーラム
7. 男性向け講座
8. 女性の就業支援 (再就職に向けてのパソコン講座など)
9. 女性の人材育成
10. その他 (具体的に)
11. わからない

問30 男女共同参画社会の実現に向けたあなたのご意見、ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

# 女性と男性がともに暮らしやすい 豊中市をつくるためのアンケート

## 調査ご協力をお願い

日ごろは、市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。  
豊中市では、「男女共同参画社会の実現」をめざし策定した平成29年度から令和3年度を期間とする第2次豊中市男女共同参画計画改定版及び第2次豊中市DV対策基本計画を見直すにあたり、市内の事業所における男女共同参画及び女性の活躍推進に関する取組状況や課題などを把握し、計画改定及び施策検討の参考とさせていただきます。アンケートを実施することとなりました。

このアンケートは、豊中市内の従業員10人以上の事業所から1,000社を無作為に選ばせていただき実施するものです。ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理いたしませんので、事業所名やそれぞれの回答内容が公開されることはありません。

また、調査および施策研究の目的以外に使用することはありません。

アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年10月


豊中市長 長内繁樹

回答にあたってのお願い

● 回答は、次のいずれかの方法でお願いします。

① 調査票による回答  
この調査票に直接回答を記入し、同封の返信用封筒（切手不要・事業所名の記入不要）に入れて、11月2日（月）までにポストに投函してください。

② インターネットによる回答  
パソコン、タブレット、スマートフォンで、下記URLまたは右のQRコードより回答ページにアクセスし、ユーザーIDを入力の上11月2日（月）までにご回答ください。

パソコン用URL <https://bit.ly/30pglMK>   
ユーザーID

● 調査票による回答の場合は、以下の点、ご注意ください。

① アンケートには、総務、人事などご担当の方にご記入をお願いいたします。  
② 選択肢がある質問には、あてはまる番号に○をつけてください。  
③ 回答できない場合や回答したくない場合は、次の質問にお進みください。

● アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

豊中市 人権政策課 男女・多文化共生係  
TEL：06-6858-2654 FAX：06-6846-6003  
E-mail：danjokyououdou@city.toyonaka.osaka.jp

# ■ 事業所調査

はじめに、貴事業所の概要についてお聞きします。

問1 貴事業所の業種をお聞かせください。（主なものひとつに○）

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 農林水産業                  | 9. 不動産業・物品賃貸業       |
| 2. 建設業（土木・建築・設備工事など）      | 10. 学術研究・専門・技術サービス業 |
| 3. 製造業                    | 11. 宿泊業・飲食サービス業     |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業          | 12. 生活関連サービス業・娯楽業   |
| 5. 情報通信業（電話・放送・インターネットなど） | 13. 教育・学習支援業        |
| 6. 運輸業・郵便業                | 14. 医療・福祉           |
| 7. 卸売業・小売業                | 15. その他のサービス業       |
| 8. 金融業・保険業                | 16. その他（具体的に）       |

問2 貴事業所の法人形態をお聞かせください。（○はひとつ）

- |  |
|--|
| 1. 法人（株式会社・有限会社・合資会社など）                  |
| 2. 上記以外の法人（財団法人・社団法人・学校法人・社会福祉法人・医療法人など） |
| 3. 個人自営業者                                |
| 4. NPO法人（特定非営利活動法人）                      |
| 5. その他（具体的に）                             |

問3 貴事業所の事業所形態をお聞かせください。（○はひとつ）

- |   |
|---|
| 1. 単独事業所（他の場所に本社、支社などを持たない事業所）                |
| 2. 本社・本店（他の場所に支社などを持ち、それらを統括する事業所）            |
| 3. 支社・支店・営業所などの支所・工場（他の場所にある本社などの統括を受けている事業所） |

問4 貴事業所の常時雇用者数を雇用形態別、男女別に記入してください。該当する方がいない場合は「0（ゼロ）」と記入してください。

① 正規雇用（正社員・正職員）	② 正規雇用以外（パート・アルバイト・嘱託・派遣職員など）	
	男性	女性
人	人	人

問5 貴事業所の管理職など的人数を男女別に記入してください。管理職は、従業員を指揮・監督する立場にある課長階以上の役職とします。該当する方がいない場合は「0（ゼロ）」と記入してください。

① 部長以上相当職	② 課長相当職		③ 係長相当職	
	男性	女性	男性	女性
人	人	人	人	人

**仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についておたずねします。**

問6 貴事業所における、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）への取り組みについて、あてはまるものをお選びください。（〇はいくつでも）

1. 積極的に取り組んでいる（労働関係などで定められた範囲以上に）
2. 労働関係などで定められた範囲で取り組んでいる
3. 現在は取り組んでいないが、今後の取り組み実施を予定している
4. 必要性は感じるが取り組み実施の予定はない
5. 必要性は感じないが、必要性は感じない
6. ワーク・ライフ・バランスへの取り組みに反対だ → 問7へお進みください
7. ワーク・ライフ・バランスを知らない

問6-1 貴事業所での仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）への取り組み推進において、どのようなことが阻害要因になるとお考えですか。（〇はいくつでも）

1. 制度導入や運用のコストがかかる
2. 雇用管理が複雑になる
3. 社員の価値観が多様で共感を得られにくい
4. どのような取組みをすればいいかわからない
5. その他（具体的に）
6. 阻害要因になるものはない

問6-2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の充実のために、重要だと思うものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

1. 経営陣の理解の促進
2. 管理職への周知の徹底・理解の促進
3. 人事・労務担当への周知徹底・理解促進
4. 従業員への周知・理解の徹底
5. 事業所内の相談窓口の設置
6. 労使の話し合い
7. その他（具体的に）
8. 特になし

問7 貴事業所で、2019年4月～2020年3月の期間に育児休業（産前・産後休業を除きます）・介護休業を取得した従業員はいくらですか。申請中も含めて取得した人数を男女別に記入してください。

- ① 育児休業（〇はひとつ）
1. 取得者がいる・・・男性（ ）人 女性（ ）人
  2. 対象者がいなかったため取得者はない
  3. その他の理由で取得者はいない→（具体的な理由）
- ② 介護休業（〇はひとつ）
1. 取得者がいる・・・男性（ ）人 女性（ ）人
  2. 対象者がいなかったため取得者はない
  3. その他の理由で取得者はいない→（具体的な理由）

【問7で育児休業・介護休業を取得した男性従業員がいると答えた方にお聞きします。】

問8 育児休業や介護休業を取得した男性従業員の数、取得期間別にお聞かせください。

	1週間未満	1週間～2週間未満	1か月～3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年以上
① 育児休業	人	人	人	人	人	人
② 介護休業	人	人	人	人	人	人

問9 貴事業所において、従業員が育児や介護と仕事の両立を支援するために、取り組んでいることをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

1. 育児・介護における休業制度を設けている
2. 育児休業や介護休業取得者への手当てを支給している
3. 配偶者出産休業制度を設けている
4. 転勤の免除制度や勤務地限定正社員制度を設けている
5. フレックスタイム制など柔軟な勤務制度を設けている
6. 勤務時間短縮などの措置を講じている
7. 時間外労働の免除または制限制度を設けている
8. 在宅勤務制度（テレワーク）を設けている
9. 有給休暇取得の促進を実施している
10. 半日・時間単位で取得できる有給休暇制度を設けている
11. 結婚・出産・介護などで一旦退職した従業員に対する再雇用制度を設けている
12. 育児・介護休業者への職場復帰プログラムを実施している
13. 事務所に託児施設を設けている
14. その他（具体的に）
15. 特になし

問10 貴事業所において育児休業や介護休業制度を定着させるにあたり、どのようなことが問題になるとお考えですか。（〇はいくつでも）

1. 休業期間中の代替要員の確保が難しい
2. 休業者の復職後、代替要員の処遇が難しい
3. 休業期間が前後するなど、人員計画が立てにくい
4. 休業者の周りの人の業務負担が多くなる
5. 代替要員では業務が務まらない、又は効率が落ちる
6. 復職時に技術・能力が低下する
7. 休業者のキャリア形成に遅れがでる
8. 現場管理職が従業員をマネジメントすることが難しくなる
9. 勤怠管理や適切な人事評価が難しい
10. 休業中の賃金などの負担が大きすぎる
11. 制度を利用しにくい雰囲気や周囲にない
12. 利用する人と利用しない人の不公平感がある
13. その他（具体的に）
14. 特になし



【問 15①～③のうちひとつでも「1. 取組を実施している」と答えた方にお聞きします。】

問 16 取組の成果、どのような成果がありましたか。(〇はいくつでも)

1. 多様な視点を持つことにつながり、多方面へのニーズに対応できた
2. 女性従業員の定着率が向上した
3. 男女とも意欲や能力のある人材の活用が進んだ
4. 管理職に女性を登用する機会が高まった
5. 生産性が高まり事業所の利益につながった
6. 外部の講師・事業所のイメージが向上した
7. 就職希望者が増加した
8. その他 (具体的に )
9. 特になし

問 17 貴事業所において女性社員の活躍を推進するにあたり、どのようなことが問題になると  
思いますか。(〇はいくつでも)

1. 女性の勤続年数が平均的に短い
2. 時間外労働、深夜労働をさせにくい
3. 家庭生活に配慮する必要がある
4. 女性の昇進意欲が低い
5. 女性社員のキャリアアップに関する意欲や理解が足りない
6. ロールモデルとなる人間が少ない
7. 性別役割分担意識が残っており、男女で従事する職務内容が分かれている
8. 顧客や取引先を含め、社会一般に職業人としての女性への信頼度が低い
9. 短時間勤務や在宅勤務など、柔軟な働き方ができる制度が整備されていない
10. 女性のための設備の整備 (トイレや更衣室など) にコストがかかる
11. その他 (具体的に )
12. 特になし

問 18 貴事業所では、女性活躍推進法における一般事業主行動計画を策定していますか。

(〇はいくつ)

1. 策定済み
2. 策定予定 (時期 : 今年度中 / 来年度中 / 時期未定)
3. 策定予定なし
4. 一般事業主行動計画を知らない

男女共同参画の推進についておたずねします。

問 19 男女共同参画に関する事業所向けの支援などがあれば受けたいと思いますか。

(〇はいくつ)

1. ぜひ受けたい
2. 受けてみてよい
3. 受けたいと聞かない

問 20 貴中が、事業所における男女共同参画推進のために以下のような取り組みを実施する  
とした場合、利用したいと思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. 事業所や労働者のための相談支援の充実
2. 事業所への雇用・労働条件確保のための指導・助言
3. 事業所 (企業) の取組事例、関連情報、ノウハウの提供
4. 他の企業・団体などとの情報交換の場の提供
5. 事業所における研修会などへの講師派遣・支援
6. 男女共同参画推進のための講座やセミナーの実施
7. 広報誌やパンフレットによる事業所への啓発
8. 経済的支援 (補助金や減税など)
9. 男女共同参画に取り組む企業向けのインセンティブ
10. 市ホームページなどでの男女共同参画への取り組み実施事業所のPR
11. その他 (具体的に )
12. 特になし

【問 20 で「6. 男女共同参画推進のための講座やセミナーの実施」と答えた方にお聞きしま  
す。】

問 20-1 どのような内容の講座や研修会に興味・関心がありますか。(〇はいくつでも)

1. 女性の就業継続・キャリアアップなど女性活躍推進
2. 結婚・育児退職後の再就職及び能力開発
3. 男性の育児・介護などへの参画促進
4. ワーク・ライフ・バランス及びディーセントワーク (人間らしく働くこと)
5. 職場におけるハラスメント防止
6. LGBTをはじめとした性的少数者に関する啓発
7. 労働法関係
8. その他 (具体的に )

問 21 男女共同参画社会の実現に向けたご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

